

具体的な事例についての読み込み資料

【ご相談例】



ご利用者様名		A子様
性別		女性
年齢		80代
住所		横浜市神奈川区
要介護度		要介護4
主訴	相談内容	・脳出血により入院しており、リハビリを経て退院予定 ・麻痺はないが後遺症として認知症と半側空間無視あり ・認知症の症状として、同じ話を繰り返す、自分の居場所がわからなくなる ・気持ちの浮き沈みが激しく、特に夕方に1人でいると寂しくなる
	本人の要望	・少しでも昔に近づきたい
	家族の要望	・退院後すぐに自宅でのケアは心配、宿泊利用をしながら少しずつ家での生活に慣れさせたい ・物忘れの症状が少しでも良くなってほしい ・ある程度自立した生活を送ってほしい ・まずは自分で判断して、家族がいなくても生活できるようになってほしい
生活歴・生活状況	生活歴	・静岡県生まれ、幼少期に横浜市内へ転居、結婚後神奈川区で生活 ・仕事はバスの車掌をしていた ・出産後は専業主婦 ・義父母と同居し、大所帯の食事作りをしていたのが自慢、調理好き
	家族状況	□：男性 ○：女性 ※必ずジェノグラムで記載、同居家族は○で囲む
病歴	経過・病歴等	・既往：腰椎圧迫骨折（腰痛あり） ・現病：高血圧、骨粗しょう症 - 現在、脳出血にて入院、脳梗塞疑い（麻痺ナシ、左半側空間無視あり）
	主治医	・〇〇HP（内科）月1回 ・△△HP（脳神経外科）
障害高齢者の日常生活自立度		自立・J1・J2・ A1 ・A2・B1・B2・C1・C2
認知症高齢者の日常生活自立度		自立・I・IIa・IIb・ IIIa ・IIIb・IV・M
経済状況		夫の厚生年金
保険・他		負担割合1割
現在利用しているサービス		なし



課題分析標準項目	状態
健康状態	・主病は安定 ・内臓疾患なし ・腰痛あり円背 ・左半側空間無視については本人自覚なし
ADL	・円背ではあるが杖歩行可能、長距離は息切れあり ・腰痛はあるもののつかまれば起き上がり、立ち上がり可能 ・排泄、食事動作自立
IADL	洗濯、掃除は次男嫁が行っている、金銭管理、買い物は元々夫がやっている
服薬管理	昼食後1回のみ、飲んだかどうか忘れてしまうため自身での管理は難しい
認知	記憶はまだら、何かに対して怒り出すと執着して1時間近く同じ話を繰り返す
コミュニケーション能力	社会的でおしゃべり好き、元々世話好き
社会との関わり	近隣とのやりとりは昔はあったが、近隣の世代交代で現在は関りがほとんどなく挨拶程度。
排尿・排便	トイレ使用、失禁なし
口腔衛生	自歯のみ、歯磨きしたのを忘れて気になると日に何度も歯磨きする
食事摂取	自立、箸
周辺症状	・多少の被害妄想あり、忘れてしまったことについて気になるとずっと気にして不穏になる ・突然不機嫌になることがある
介護力	・夫は高齢であるが積極的 ・次男夫婦と同居してはいるが、夫婦ともに就労しているため平日の日中は関わるできない
住環境	・戸建て、二世帯住宅の1階 ・玄関段差10cm×2段 ・各居室からトイレに行く際、玄関横を通るため玄関段差への危険性あり ・室内は段差なし ・自宅周辺は平坦 ・寝室は夫といっしょで市販のシングルベッドあり

この資料（事例）を読み込み、人物像を想像する。

強みと弱みを洗い出し、ご本人の希望をカタチにするための課題の設定へ向け話し合いをする。